

み　　も う　人　有　無　十六号



二代目・河竹新七（黙阿弥）作
通称「白浪五人男」に出てくる名セリフ。
その下には河竹登志夫氏によって描かれた、
蛙に扮した弁天小僧。
墓地にある石碑のどこかから蛙の音が
聞こえませんか？

真宗大谷派
源通寺

三宝会

～お寺 de 七五三?～

2015年 11月14日

初開催!!



もうだいぶ日が過ぎて、年まで越してしまいましたが、昨年の11月14日に源通寺本堂にて「三宝会 ～さんぼうえ～」を行いました。

初めてのこの行事に参加してくれたのは、亀井 旬くんです。

神社で七五三をしたあと、日を改めてお母さん・おばあちゃん・おじいちゃんと一緒に来てくれました。袴姿がとても格好良く似合っていて、笑顔の絶えない人懐っこい旬くん。

普段の生活の中でお内仏に手を合わせる習慣が身に付いているようで、式中でもご本尊の前まで出てきて何度も手を合わせている姿がとても印象的でした。



今の自分がここにいられるのはなぜ?

大きくなれたのはなぜ?

友達や仲間、家族が近くにいるってどういうこと?

とても素晴らしいことかもしれないけれど、いつかそう思える日がきて、その時にご本尊の前で手を合わせるそんな姿があったら、私、たぶん、泣きそう...

「三宝会 ～さんぼうえ～」まだ動き始めたばかりの行事ですが、いつかのそんな姿のキッカケになってくれたらいいなあと思います。

旬くん、ご家族の皆様。

この度は 本当におめでとうございませう!

そして、ありがとうございませう!

今年の三宝会のお知らせ

日時: 2016年 11月12日 午前10時より

お寺での七五三を受式したい方 受付中!!

詳しくは当寺までお問い合わせください。

源通寺: 03-3371-8817



その他

・千歳飴

・数珠

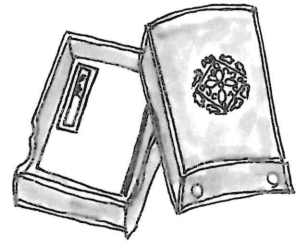
が記念品です。

◆ 准坊主
手作り
フォトフレーム
旬くんver.



御文 ～蓮如上人からのお手紙～

御文と 御文箱



「あなかしこ あなかしこ」

子供の頃、一冊にこの言葉を待ち望んだ。

この一文は、御文一通ごとの最後に出てくる。

それだけ私は小さな頃から真宗の教えに関心を持っていた。

はずもなく...

この一文こそ、法要が終わる合図だからである... 笑

御文は、本願寺八世・蓮如上人が全国の門徒に宛てて書かれたお手紙です。

その数は二百数十通あるといわれており、孫の圓如(えんにょ)がその中から

八十通を選び、五帖に編纂されたものを普通御文といいます。

それ以外には、帖外御文(じょうがいおふみ)〈五帖に選ばれなかったもの〉、

夏の御文(げのおふみ)〈蓮如上人が夏期に製作されたもの。四通〉、

御俗性御文(ごぞくしょうおふみ)〈親鸞聖人の俗性・残された教え・報恩講に於ける門徒の心得を書かれたもの。報恩講時に手読される。〉があり

ます。

御門徒の皆様は法事の時に、五帖目一通「末代無智(まつだいむち)」

又は五帖目十通「聖人一流(しょうにんいちりゅう)」を耳にしたことがあると思

います。(本堂に置いてある赤い勸行本〔通称・赤本〕では60・61ページに

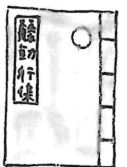
載っています。)

仏教はその伝承ルートから漢文で書かれている書物が多く、真宗で言えば親鸞聖人の代表著作「教行信証(顕浄土真実教行証文類)」が「どうであるように、読むことが素晴らしいです」。

その中で親鸞聖人の書かれた「和讃」や蓮如上人の書かれた「御文」は和文で書かれており親しみやすく感じます。

中には専門的な用語も出てくるので簡単ではないかもしれませんが、

「蓮如上人から手紙が届いたぞ!」という感覚で是非一度赤本に目を通して頂きたいです。



P.S. 読み終わっても(ゴミ箱にポイッと)(シュレッダーにかける)は

厳禁です!!

◆ 門徒様より「ウム有無」に対するお便りをいただきましたので
掲載させていただきます。〈みなさまからのお便り随時募集中です!〉

「私の思い」

こんにちは。私は源通寺が発行する「ウム有無」を愛読する門徒の一人です。
「有無」は肩が凝らずにさらっと読める、そして教えの何たるかの余韻が残る、
ユニークで貴重な広報誌です。真宗の教えをいただく者同士が「有無」を通して
交流の場が持てるなんて素晴らしいことだと思えます。

常に移り変わる現代社会、流動化する国内外の政治、そして経済、そんな
状況の中にあって人間のこころの問題だけが何故か置き去られ、
忘れ去られているように思えてなりません。

居場所ということがよく問題になっています。ああでもない、こうでもない。
私なんかもよく迷います。迷い続けています。やっぱり煩惱具足の人間
なんだと、変な納得など時折したりして。とっさの居場所は見つかると、
真の依りどころの居場所が中々定まりません。自力で解答を求めても、答えは
得られません。

真宗は、出遇いの仏教だと言われます。迷いの夢を覚ましてくれるのは聞法
しかありません。私はそう思います。法然上人をたずねて一日も休むことなく、
その教えに聞き入ると云うひたむきな聞法によって親鸞聖人は辛く長い
闇を破っていったのだと思います。

Y.S

Next Event

～今後の予定～

● 2月27日(土) 14時

「同朋の会」

～仏法を語らう会～

※ 参加自由です

● 3月13日(日)

「春彼岸会」

春に開かれる
お彼岸法要です。

● 4月8日(金)

「花まつり」

阿彌陀様のお誕生を
お祝います。お子様と

発行日：平成28年1月1日

制作：副住職 小笠原 翔

(法名 釋祐翔)

准坊主 小笠原 沙織

題字：15代住職 小笠原 祐純

(法名 釋祐純)

facebook

真宗大谷派 源通寺 × Q

いいね! よろしくお願いします!!

真宗 大谷派 丰院

— 金堂山 源通寺 —

東京都中野区上高田 1-2-7

TEL・03-3371-8817

FAX・03-3371-8815

WEB①・gentsuji.or.jp (寺院用)

WEB②・gentsuji.jp (行事用)

MAIL・contact@gentsuji.or.jp

■ 当寺に関する事、又気になること等ございましたら、お気軽にご相談ください。